



孺恋村自然体験交流事業を実施



1月24日・25日に、利根小学校5・6年生34名が孺恋村自然体験交流事業に参加しました。
1日目は甘楽町こんにやくパークでこんにやく作り体験と宿泊先でもある東海大学孺恋高原研修センターで天体観測を行い、2日目は鬼押し出し園とハッ場ダムの見学をしました。また、短時間ではありましたが雪遊びもして、冬ならではの自然に親しみながら、元気いっぱい過ごしました。

地域おこし協力隊
(多文化共生プロモーター) 着任式



(左から) 奥田隊員、山崎町長、池本隊員

町では、国が推進する「地域おこし協力隊制度」を活用し、令和8年1月より「多文化共生プロモーター」として奥田晶子さん(写真左)、池本貴至さん(写真右)の2名に地域おこし協力隊員を委嘱しました。
奥田隊員、池本隊員は、学校や支援団体などとの連携を強化し、地域コミュニティの活性化、多文化共生社会の推進および外国籍住民への生活支援の充実に積極的に取り組んでいきます。2月上旬には、留学生と協力しクリーンアップを実施しました。詳細は4月号広報に掲載予定です。

下水道の災害復旧支援協定を締結



(左) 関東支部茨城県部会 椎名部会長 (右) 山崎町長

2月3日、町は(公社)日本下水道管路管理業協会と「災害時における復旧支援協力に関する協定」を締結しました。
本協定は、地震などの大規模な災害が発生した場合の復旧支援協力に関する基本的事項を定め、被災した下水道管路施設の機能の早期復旧を行うことを目的としたものです。
協定締結式で椎名部会長は、「いつ起こるかわからない地震・水害に対応できるよう、一層の努力と人材の育成に努めていきます」とあいさつされました。
また、山崎町長は、「高度な専門技術と豊富な経験を持つ下水道管路管理業協会の皆さまと協力体制を構築できることは、町にとって大変心強く、町民の安全・安心な暮らしを守る上で極めて重要な意義を持つものと考えております」と述べられました。

第16回 布川一茶俳句大会

昨年11月27日、12月1日、徳満寺において「第16回布川一茶俳句大会」が開催されました。利根小学校3年生以上の児童および利根中学校の全学年が素晴らしい俳句を詠んでくださった結果、一般参加と合わせて六五〇句の力作が展示されました。29日は、徳満寺の客殿から溢れるほどの参加者が見守る中、山崎町長、海老澤教育長、石井指導課長、生芝徳満寺住職のご臨席をいただき、表彰式が行われました。
その後、12月1日まで展示を行い、境内の地蔵寺と合わせてたくさんの方々で賑わいました。

—敬称略—

布川保育園さくら組

・しーぐらすきらきらひかるなつのうみ
・かいひろいろんなかたちにもじもよう
・ぼくあいははるまはあはるはあど
・かぞくりよこうおんせんでからだぼつかばか
・おいもほりだんごみたいでたのしいな
・すいぞくかんすうつとおよぐあかいたい
・そらふねはまえとうしろにうごいたよ
・なつまつりりんごあめをかったよたのしかったよ
・なつまつりおそらにはあときれいだね



第36回伊藤園
「おーいお茶新俳句大賞」受賞



(左) 山崎町長 (右) 平塚利雄さん

第36回伊藤園「おーいお茶新俳句大賞」受賞作品が発表され、約二百万句の応募作品から見事に平塚利雄さん(利根町羽根野)の句が入賞しました。
『鳥帰る雲の扉を押し開けて』
入賞作品は「おーいお茶」のパッケージに句が掲載されます。
平塚さんは若い頃から居酒屋で仲間と句を競い合う「居酒屋俳句」で腕を磨いてこられました。町の俳句大会でもたびたび入賞を重ね、現在は句会の講師や大会選者としても活躍されています。今回の快挙に、「これからも一日一句を心がけ、俳句の楽しさを大切にしていきたい」と喜びを語っています。

第14回布川一茶俳句会
「投句箱優秀句」の発表 7月〜12月

選者「馬酔木」同人 斉藤玲子先生
応募数94句 順不同・敬称略

- ・日向ぼこ老いて一人を楽しめる つくば市 矢野しげ子
- ・いく山河こえて八十路の春日和 利根町 若松 恭子
- ・大掃除脚立押さえに妻を呼ぶ 利根町 水田 俊雄
- ・訓練の杖つき歩行秋深し 龍ヶ崎市 半田 健州
- ・身の丈の暮しや餅の膨らみぬ 龍ヶ崎市 高嶺 みほ
- ・笹鳴くや道を問はれて道連れに 利根町 多田 芳子
- ・一握り手渡しもらふ露の臺 利根町 石川 陽子
- ・書き足らぬ想ひ賀状の左馬 利根町 井手 澄子
- ・湯豆腐の湯気のかうや父のゐて 印西市 関根 早苗
- ・朝月をかがげ明けゆく霜の屋根 利根町 井手 澄子
- ・杉山美佐子

<p>一茶句会賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利根川の足からひびく花火かな 利根小五年 小川 杏莉 ・スマホには思い出つめた夏休み 利根中二年 中村 蒼祐 ・そつと来て宿題見て行くあげはちよう 利根小六年 中川 総司 <p>徳満寺賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流れ星願い願えばゆめかなう 利根小四年 海老原彩風 	<p>一般の部</p> <p>一茶句会賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽トラの沈むまで積む今年米 龍ヶ崎市 伊沢とよ子 <p>町長賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風変はる夕暮れ時や葎の花 利根町 丸山 英子 <p>教育長賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛り上手有田小鉢に菊繪 龍ヶ崎市 小宮 光司 <p>徳満寺賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む星は病んで居らぬか月に問ふ 利根町 竹内恵美子 <p>特選</p> <ul style="list-style-type: none"> ・願ひごとと写経に込める式部の実 利根町 多田 芳子 ・老いてまた二人暮しや苜蓿の湯 龍ヶ崎市 中山美恵子 ・鶏頭の色鮮やかに妻の墓 龍ヶ崎市 半田 健州 ・茫茫と風の常陸や走り蕎麦 龍ヶ崎市 白取 せち ・衰へにブレーキかけて秋祭 利根町 若松 充 ・思ひ出す故山自在に鬼やんま 利根町 井手 澄子 ・来し方を感謝一文字除夜の鐘 利根町 中村 君江 ・稲を刈る農夫の影のいきいきと 利根町 菊地きよ子 ・掛大根一筆描きの筑波かな 利根町 本谷 英基 ・幸せを心に留めて敬老会 利根町 香取 こう
--	--

▼問い合わせ・事務局
香取 ☎090・3690・1206
※俳句は、年齢や経験を問わずだれでも楽しむことができます。そして、日常の何気ない出来事の中に素晴らしいものを見つかることができます。